

## アピール

本日、「北方領土の日」にあたり、私たちは我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の早期返還実現を目指し「平成 25 年北方領土返還要求全国大会」を開催しました。

本年は、北方四島が不法に占領され 68 年、北方領土の日が制定され 33 年目です。歲月だけが過ぎ去りました。何故、領土問題の解決がされないのか、強い怒りを禁じえません。

北方領土を故郷とする元島民の多くの方々が望郷の念を抱きつつ亡くなられております。解決がこれ以上長引くことは断じて許すわけにはいきません。

昨年、日露両国の首脳が変わりました。これを機に両国首脳が領土問題の解決に向け、前向きに話し合うことが計画されております。こうした時こそ、返還要求運動の現場は、北方領土が平和と友好裡に我が国に返還されることが、「北方領土の日」制定の原点であることを改めて確認し、一致団結して返還要求運動に取り組みます。

本大会では、政府と国民が一体となりこれまで以上に国内外に向け広範な返還要求運動を展開し、さらに領土問題解決に向けた日露両国間の交渉を加速することなど、返還実現に向けて役割を果たす意思の統一が確認されました。

私たちは、一刻も早い北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

### 記

- 一. 私たちは、必ずや北方四島を私たちの手に取り戻します。
- 一. 私たちは、地域・職場・学校・家庭など、あらゆる場で啓発活動を行います。
- 一. 私たちは、全国の仲間との連携をさらに深めるとともに、署名活動をより一層推進します。
- 一. 私たちは、「北方領土返還・四島交流促進議員連盟」と連携し、返還実現に向け政・官・民のさらなる団結を深めます。
- 一. 私たちは、北方四島ビザなし交流など、あらゆる機会を活かし、ロシア国民に北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを強く訴えます。
- 一. 私たちは、択捉島の紗那に残存する日本の建物保存に取り組みます。

平成 25 年 2 月 7 日北方領土の日  
平成 25 年北方領土返還要求全国大会